

出産・子育て支援の充実に邁進

元ワーキングママがゆく
54

54

横浜市会議員伏見ゆきえ

も課題を抱える保育の現場において、誰もが安心して子どもを産み育てられるよう皆さんの声を届けていきたいです。

現在、令和5年度の予算審議が進められています。政府は4月から出産一時金を42万円から50万円に引き上げると明言しました。これを受け横浜市は、当初予算案に実態調査や研究費約1500万を計上します。これらは自民党が連携し、切れ目なく子育て支援を推進してきました。これまでの悩みは尽きません。私は今から20年以上前に次女を出産後、預け先が見つからず保育ルームではないでしょうか。が設けられた職場に転職しました。子育て世帯において「預け先が見つからない」というのは経済

うない」と云うのは経済面にも影響が出来ます。預け先があつて保護者は安心して働くことができま
す。当時心からほっとし
た思いがあります。

出産や子育て環境の充実を図る提言を市に積極的に行つてきました。今後

も課題を抱える保育の現場において、誰もが安心して子どもを産み育てられるよう皆さんとの声を届けていきたいです。

区で4つの新事業

戸塚区は「子育て応援事業」に昨年度比55万円増の504万円を計上し、4つの新事業が盛り込まれました。1つ目は妊娠期リーフレット作成、2つ目は生活リズムの基礎を形成する1歳児講座、3つ目は乳幼児健診に映像を活用する集団講座、4つ目は幼児の口腔内の健康を守る育児啓発リーフレット作成です。子育てしやすいまちづくりのために、これからも邁進していきます。